

10 【福島高専】

活躍する卒業生

① 鈴木 茂和 先生（本校 機械システム工学科 准教授）

（平成9年度卒業生。1998年3月機械工学科卒業 第32回生）

平成16年10月に本校教員として採用後、平成21年本核准教授に就任。全国の学生に福島県と福島第一原発の現状を正しく理解させ廃炉に興味を持ってもらおうと、全国の高専生を対象に廃炉に役立つロボットの完成度を競う「廃炉創造ロボコン」を企画。令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞 理解増進部門を受賞した。

② 今泉 敏 先生（東京医療学院大学 保健医療学部 学部長・教授）

（昭和44年度卒業生。1970年3月電気工学科卒 第4回生）

本校卒業後、山梨大学へ編入後、東北大学大学院へ進学し博士取得。近畿大学助手、東京大学医学部助教授、県立広島大学教授などを経て、現職。

大学院生のときに「声の検査法」開発に参加し、「声の検査法」が医療現場で採用されたことがきっかけで医学部の教員となり、現在に至るまで医学界の発展に大きく貢献している。

③ 遠藤 智 先生（福島県双葉郡広野町 町長）

（昭和56年度卒業生。1982年3月工業化学科卒 第16回生）

本校卒業後、東京経済大学を卒業し、東京電力系企業に就職、町議会議員となる。

東日本大震災時は、町議会議員として緊急時避難準備区域と指定された広野町の町民避難先確保、生活再建などに奔走。2013年12月、広野町長に就任。避難解除後は、福島・双葉郡の復興は広野町から始まるとして復興の方針、各種施策などを提案し、福島復興創生へ邁進。福島県双葉郡八町村の代表として、避難生活から町民の帰還率90%、ふたば未来学園中高一貫校の誘致などを実現し、新たな時代の”避難者、復興従事者と共に歩む共生の町“創出、福島復興に取り組む。2019年10月、OECD チャンピオン・メイヤーズに選出。

2020年9月、自叙伝“福島・ふる里復興創生へ”を発刊。

2021年8月、福島県町村会長、双葉地方町村会長に就任。

2021年11月、広野町長選無投票当選、現在3期目。

④ 菅野 良一先生（日本検査キューエイ株式会社 代表取締役社長）

（昭和54年度卒業生。1980年3月土木工学科卒 第10回生）

1984年東工大院理工学研究科修士課程修了。新日本製鉄（現日本製鉄）入社、1993年米・コーネル大院博士課程修了、2008年技術開発本部鉄鋼研究所・鋼構造研究開発センター所長、2014年フェロー（執行役員待遇）。2021年6月より現職。ISO 審査登録・JIS 製品認証・GHG 排出量検証等において、信頼性の高い認証機関として各方面から高い評価を受けている。

⑤ 栗林 利紗 先生（株式会社 Ri-speKt 栗林利紗公認会計士事務所 公認会計士・税理士）

（平成21年度卒業生。2010年3月コミュニケーション情報学科卒 第13回生）

本校卒業後、早稲田大学商学部に編入学し、その後早稲田大学会計大学院修了。

25歳で公認会計士合格。本校非常勤講師をつとめる一方、ギャル会計士としてSNSでも活躍している。